

集めに集めたキャップは2000キロ!!

木山中の生徒がボランティア活動



木山中生徒会執行部のみなさん

2月22日、木山中学校の生徒会が、全校生徒で収集したペットボトルキャップを㈱テレビ熊本に引き渡し、感謝状を受け取りました。

①礼儀正しい生徒②積極性のある生徒③気配りが出来る生徒を理想の生徒像とする同校生徒会。「生徒像に近づくため、全校生徒の一人ひとりが協力し合って、木山中の一員として、積極的に取り組みたい!」と、一昨年の12月からこのボランティア活動を始めました。この日までに集めたキャップは約2000キロ



車いっぱいキャップを積み込みました!

グラム。これで800人分のポリオワクチンと交換することが出来ます。生徒たちは、木山中学校全体でより多くのキャップを集め、できるだけたくさんワクチンに替えたい!という当初の目的を地域の方々の協力もあって達成し、交流を深めることができたことに感謝していました。この春、活動の中心であった3年生から2年生にバトンが引き継がれます。新執行部は、掃除やボランティア活動を積極的に取り組み、今後もキャップ集めをがんばっていきたい!!と意気込んでいました。

晴れの100歳を祝う

上陳の宮本ミサヲさん

2月18日、晴れて100歳の誕生日を迎えた宮本ミサヲさん(上陳)に同日、長寿を祝う表彰状と敬老祝金が町から贈られました。

宮本さんは、明治43年生まれ。現在は、自宅で夫の俊春さんと息子夫婦の睦士さん、多恵子さんとともに暮らしています。毎日欠かさず新聞を読み、1年前までは敷地内で野菜作りや草取りなども行っていたという元気なおばあちゃんです。

住永町長が「いつまでもお元気でいてください」と励ますと、宮本さんは「ありがとうございます」とお礼を述べ、しっかりと握手で応えていました。



自宅で元気に過ごしている宮本ミサヲさん(右)



備品の寄贈にお礼を述べる住永町長

生活環境整備に備品贈呈

(財)空港環境整備協会から町内4施設へ

2月19日、(財)空港環境整備協会から町内の共同利用施設に対し、プラズマテレビやエアコン、冷蔵庫などの備品が贈られました。

これは、空港周辺住民の生活環境改善を図り、空港運営と航空交通の健全な発展を目的に実施されているもので、今回は、広崎3町内、惣領2・3・4町内の公民館の備品が整備されました。

寄贈式で同協会熊本事務所の大神武夫所長から目録が渡されると、住永町長が「大切にに使わせていただきます。地域と空港が共存し、健全に発展できるよう願っています」とお礼を述べました。